

ロボット性能評価人材育成講座に係るシンポジウム(第2回) ～ロボットを活用したインフラ点検・災害対応の最新動向～ 開 催 案 内

日 時 : 2020 年 1 月 17 日(金) 13 時 00 分～18 時 30 分 (受付開始 : 12 時 30 分)

場 所 : 機械振興会館

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/index.html>

第 1 部 シンポジウム 同会館 B 2 ホール (地下 2 階)

第 2 部 交流会(マッチングイベント) 同会館 6 D-4 会議室 (6 階)

主 催 : 一般財団法人 製造科学技術センター (M S T C)

定 員 : 第 1 部 シンポジウム 1 5 0 名

第 2 部 交流会 5 0 名

参加費 : 無料 (交流会参加費 1,000 円)

申込締切 : 2020 年 1 月 14 日(火) 15 時 00 分

※当日受付も可

参加申込者には、受付票を後日メールで、
で、お送り致します。尚、当日受付の方
は名刺をご持参ください。



福島ロボットテストフ
ィールド(試験用プラント)



陸上移動ロボット

《開催趣旨》

物流やインフラ点検、大規模災害対応等の陸・空・水中のロボット開発の一大拠点として、
福島県南相馬市・浪江町に「福島ロボットテストフィールド(RTF)」が整備され、2020 年 3
月には全施設が開所予定です。

インフラ点検や災害対応ロボットの性能評価手法を理解し、性能評価手順書や福島 RTF を
広く活用できる人材の育成を目的とした「ロボット性能評価人材育成講座」を 2018 年度か
ら 3 ヶ年計画で実施しています。本講座は、①無人航空機による橋梁点検分野 ②水中ロボ
ットによるダム及び河川点検分野 ③陸上移動ロボットによるトンネル及びプラント災害調
査分野の 3 分野を対象として、現在、計 160 名が受講しています。

本シンポジウムでは、ロボット性能評価人材育成講座で実施した福島 R T F ・試験用プラ
ントでの陸上移動ロボット実習の結果を報告します。あわせて、専門家や有識者から陸・空・
水中の各種ロボットを活用したインフラ点検や災害対応の最新動向及びダム・河川などのイ
ンフラ保全の未来に関する講演を頂きます。

(申込、問合せ先)

一般財団法人製造科学技術センター 武田、角田、吉田 (rpe@mstc.or.jp)

〒105-0004 東京都港区新橋 3-4-10 新橋企画ビルディング 4 階

TEL : 03-3500-4891 FAX : 03-3500-4895

ホームページアドレス : <http://www.mstc.or.jp>

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:40 報告:「陸上移動ロボット実習報告<福島ロボットテストフィールド試験プラント実習>」
名古屋工業大学 おもひ領域 電気・機械工学専攻 助教
佐藤 徳孝（及び本講座受講者）

13:40～14:20 講演 1:「ドローンの現状と課題、福島ロボットテストフィールドの役割」
東京大学名誉教授、未来ビジョン研究センター特任教授、福島ロボットテストフィールド所長
鈴木 真二

「空中撮影、農薬散布など様々な分野で、ドローンの利用が進んでいる。今後、都市部での物流やインフラ点検、災害対応への利用に向け、飛行性能や安全性の実証に加えて、運行管理システムの実用化や制度面の整備などが求められる。本講演では、大きな期待が集まるドローンに関して、世界及び日本の現状を概観し、将来の展望を考察する。また、福島ロボットテストフィールドは、2020年3月に完成の予定であるが、既に陸海空の各種ロボットの性能や安全性等の評価試験が行われている。その役割等について述べる。」

14:20～15:00 講演 2:「災害調査フィールドロボットの社会実装に向けて」
株式会社日立製作所 ディフェンスビジネスユニット情報システム本部 社会インフラ事業推進部
谷村 和彦

「土砂崩落、火山災害及びトンネル災害現場においては、人の立ち入りが困難な発災直後に、現場の詳細な状況をいち早く把握し、的確な状況把握や被害予測を行い、災害対応策の検討と迅速な対応が求められる。これを実現するため、より精度の高い現場情報をいち早く取得し、防災関連部署に提供するための災害調査用フィールドロボットを開発した。その概要と、社会実装がなかなか進まない現状を分析し、課題とその対策について述べる。」

15:00～15:15 休憩

15:15～15:55 講演 3:「災害対応防爆型陸上ロボットと性能評価手順書について」
三菱重工株式会社 パワードメイン原子力事業部機器設計部 技監・主幹技師
大西 献

「平時・災害時を問わず、引火性ガス雰囲気想定される現場で使用する電気機器類には、防爆性能が要求される。そもそも“防爆”とは何か？ どうやって防爆性能をつくりこみ評価するか？ 法規制はどうなっている？ 移動ロボット特有の防爆性能はあるのか？ など、ロボットにかかわる技術者が普段あまり耳にしない事柄について、事例を交えて解説する。」

15:55～17:05 特別講演:「未来を見通したインフラ整備」
特定非営利活動法人 日本水フォーラム代表理事（元国土交通省河川局長）
竹村 公太郎

「昨年10月の台風19号では、千曲川での氾濫、多摩川での越水など各地で大きな水害が発生し、改めて治水の重要性を認識させられた。また城山ダム等複数のダムで緊急放流が行われ、ダムの役割がクローズアップされた。竹村公太郎氏は、旧建設省入省以来、栃木県の川治ダム、会津若松市の大川ダム、神奈川県宮ヶ瀬ダムなど各種のダム建設に携われた。ダムの構造や機能、ダム造りの経験、さらに日本を支えるインフラのあり方など、幅広くお話をいただく。」(シンポジウム事務局記)

17:05～17:10 閉会挨拶

17:30～18:30 交流会(6D-4 会議室) （講師との質疑応答や技術交流等）

注) プログラムは諸般の事由で一部変更になる可能性があります。

会場案内



最寄りの交通機関

東京メトロ日比谷線	・	・	・	・	・	神谷町駅下車	徒歩 8 分
都営地下鉄三田線	・	・	・	・	・	御成門駅下車	徒歩 8 分
都営地下鉄大江戸線	・	・	・	・	・	赤羽橋駅下車	徒歩 10 分
都営地下鉄浅草線・大江戸線	・	・	・	・	・	大門駅下車	徒歩 10 分
J R 山手線・京浜東北線	・	・	・	・	・	浜松町駅下車	徒歩 15 分

無料バス

神谷町駅より無料送迎バスを運行しております。⇒ 12:45 発

詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

神谷町駅付近での乗降場所は公道であり、停留所ではありません。

近隣の方、歩行者の方のご迷惑にならぬよう歩道の車道よりにて、

また、オランダ大使館裏手に通ずる道路を塞がぬように整列願います。

その際はゴミ捨て、喫煙などの行為は慎んでいただくようお願いいたします。